

生石まちづくり通信

〈創刊号〉

生石地区
まちづくり協議会準備会
松山市高岡町860-67
TEL/FAX 971-2975

まちづくりの新しい風

～生石まちづくり通信の創刊にあたって～

生石地区まちづくり協議会準備会

会長 福山 勝幸



本年3月27日、地域の各種団体代表者をはじめ多くの皆様のご賛同をいただき、生石地区まちづくり協議会準備会が設立されました。

この「生石まちづくり通信」は、皆様に生石のまちづくりについて知っていただき、ご参加いただきたいの
思いから発行することとしました。

さて、準備会が発足して半年が経過しました。この間、多くの皆様のご参加を得て、垣生山登山
や
講演会など、4回の学習会を開催してまいりました。また、地域の皆様のまちづくりに対する考えや意見
を
把握するため、小中学生260人、16歳以上の住民1,000人を対象にアンケート調査を実施しました。
創刊号では、これらの活動のほか、アンケート結果などを紹介します。準備会を身近に感じていただき、
一人でも多くの理解者と協力者となっていただけるよう、まちづくりの仲間づくりを進めていきたいと考えて
います。

準備会の目的は、まちづくり協議会の設立で、来年4月を目標としています。また、まちづくり協議会
は、
地区全体の重要な課題について方針や意思を決定する組織であり、地域の要となる組織です。

《生石地区まちづくり協議会準備会ってなあに？》

目 的

生石地区まちづくり協議会の設立

コミュニティの活性化

人 材 育 成

活 動

垣生山の整備

ふるさと愛の醸成

防災・防犯・安心・安全

子どもの健全育成

高齢者の生きがいづくり

情報の発信・共有

コミュニティの再構築

住民の参画

◆まちづくり協議会とは？

日本全国で広がっている住民の主体的な「まちづくり」を進める自治組織の名称で、松山市条例に定められています。

◆どう変わるの？

今までまちづくりは、町内会・広報委員会
その他様々な団体が、それぞれ活動して
いました。

それらの団体がひとつにまとまって、連携
をとり、より活発にまちづくりを行うのが、

「まちづくり協議会」 です！

「ああだったらいいのにな」
「こうだったらいいのにな」
という理想の生石を誰かに任せるばかり
でなく、自分たちでつくっていくのが

「まちづくり協議会」 です！

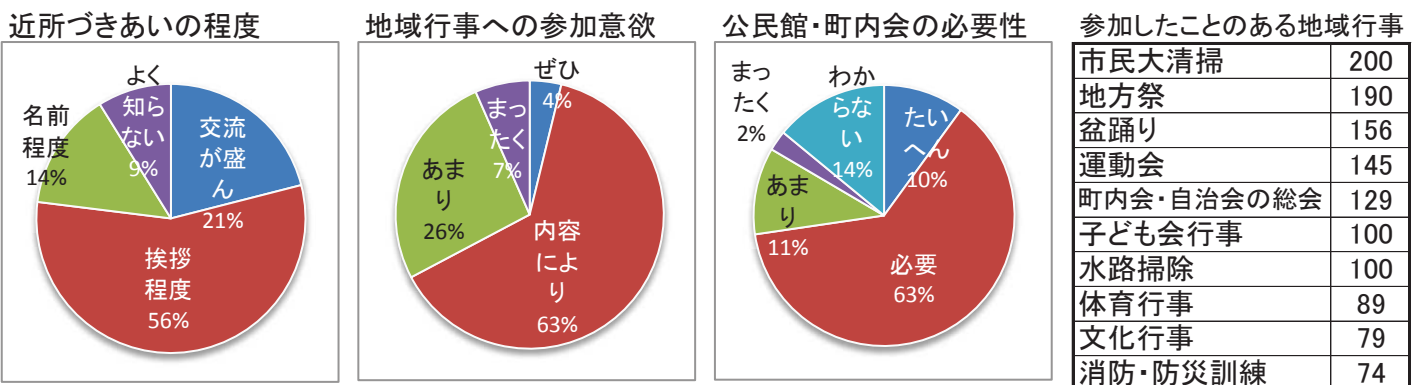
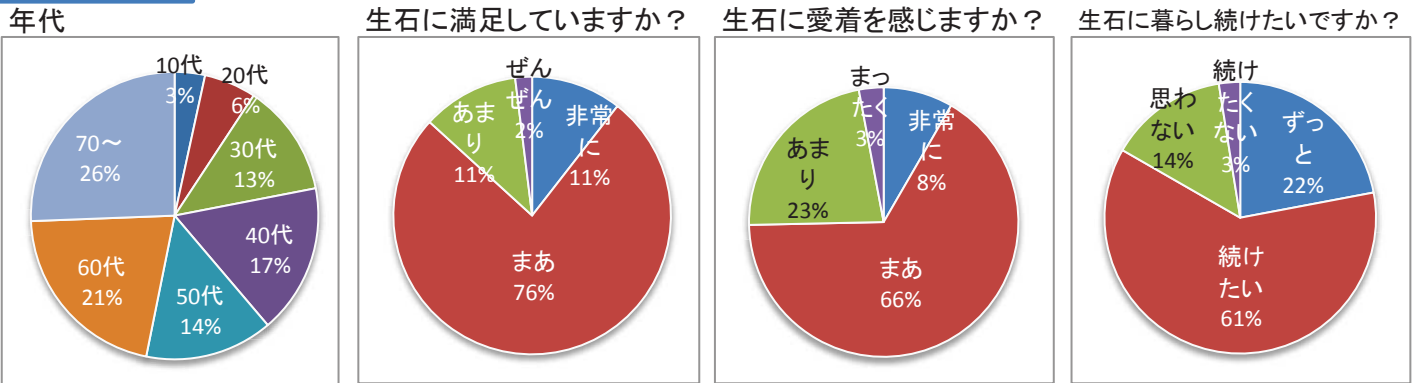
もちろん、既存の団体や行政とも連携しな
がら進めていきます！

まちづくりアンケート集計結果

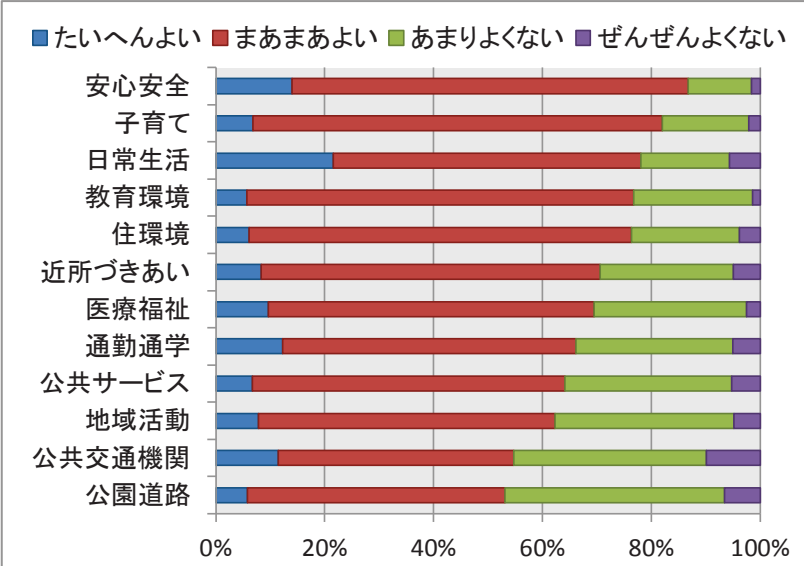
7月10日～31日、16歳以上の住民1,000人(性別・年齢層別無作為抽出)と小学5年生(生石・さくら)、西中学校2年生、を対象にアンケート調査を実施しました。16歳以上の方402人から回答をいただき(回収率41%)、他地区と比べても関心の高さがわかりました。自由記述等も多く、紙面だけでは紹介できません。

11月末まで、粗集計したものを生石支所と公民館に置いておりますので、ぜひご覧ください。

16歳以上



地域の現状をどう思うか？



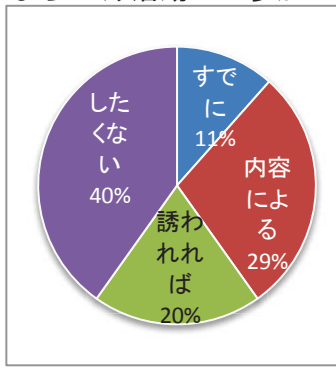
【自由記述意見(抜粋)】

- ◆ 高齢者と若者が連携できるまちづくりを
- ◆ みんなの町ですから町内全員が参加したい
- ◆ 老後、買物や出かける際の公共の乗り物が少ない
- ◆ 保守的な環境を感じる。すべての人の和やかな関係を
- ◆ アンケート結果の公開で皆が関心を持ち、考える
- ◆ 若手の参加がなさすぎる
- ◆ 地域住民の活動でよりよいまちになれば
- ◆ 子どもが安全でのびのび育つ地域であってほしい
- ◆ 生石で生まれ、育ち、親になったことが嬉しい
- ◆ 地震津波の避難場所として垣生山が最適
- ◆ 子どもたちをみんなで守れるまちにしたい
- ◆ まちづくりの内容がよくわからない
- ◆ できることからかかわっていききたい
- ◆ 寝たきりです。忘れないでください
- ◆ 回覧板に意見を書くところがほしい、目安箱
- ◆ 隣近所の挨拶から地域づくりをしたい

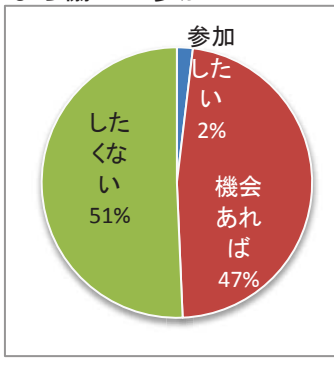
まち協に期待するもの

安心安全	241
環境整備	206
住民の連帯	120
課題解決	108
行政とのパイプ役	94
コミュニティの充実	88
意見集約	54
人材育成	36
郷土愛の醸成	34
何も期待しない	21

まちづくり活動への参加



まち協への参加



町協メンバーの選び方

公募	177
既存団体の役員	172
区長・自治会長の推薦	136
学識経験者	97
その他	22

- やる気・実行力のある人
- 年代・職種など多様な人
- 中・高・大学生・若い人からも
- 本音で語れる・正義感・公平な人
- 既存の役員以外から



まちきょう準備会 学習会



第1回学習会(4/22) テーマ:「まちづくりは宝探し」

講師: 若松進一氏(元双海町教育長)

参加者数: 154名



第1回目の学習会は、「こころを耕す」学習会の位置づけで、夕日のまち双海の仕掛け人として著名な若松進一先生をお招きしました。地域を誇りに思い、地域を自慢できるように変えていくのは、住んでいる人以外ありません。

まちづくりを自らのことと認識し、できることからやっていく。こうして菜の花畑や水仙畑、駅舎での夕焼けコンサート、トロコ列車などが誕生しました。

ひとりで、コツコツと海岸清掃をしているうちに手伝ってくれる地域の人が二人、三人と加わり10年続けました。今でも地元の人に引き継がれています。

- ◆人の幸せは、地位や名誉やお金ではない。
- ◆人の為に何かをし、**必要とされること**。
- ◆まちづくりは、**夢づくり**。実現する**プロセスを楽しむ**。
- ◆**楽しくなければ、続かない**。

紹介しきれないほどたくさんのキーワードをいただきました。ご参加いただいた皆さんも感じてくださったようです。アンケートの9割以上の方が、「たいへんよかった」と評価してくれていました。

第2回学習会(5/12) 垣生山視察登山

参加者数: 104名



定刻 9時に開会式を開始し、会長挨拶、準備体操の後、9時5分頃公民館を出発しました。

南側登山口から登り始め、9時30分には大部分の人が頂上へ到着していました。

全員が最後まで登り切り、頂上の景色を満喫できたこと、無事終了したことを喜びたいと思います。

頂上では、公民館長から垣生山の歴史についてお話いただき、弥生時代から戦国時代に思いを巡らせました。公民館へ帰り全員で記念撮影。

渡邊副会長さんが終わりに、「**桜の季節に、またみんなで登りましょう。**」と締めくくってくださいました。

第3回学習会(6/3) テーマ:「里山ってなあに? ~地域にすむということ~」

講師: 小林修氏(愛媛大学農学部准教授)

参加者数: 54名



里山づくり、また里山を通して人と人、人とモノ、物と物とのかかわり様、すなわち暮らし方や生き方を考える学習会です。

都会育ちの小林先生が、五明の山中に居を構え、森づくりをしながらスローライフを楽しむようになったのは、人と人との繋がりの

重要性を感じたからだと言います。

まちづくりの根っこは、ひとづくりです。誰もが大切にされる地域をつくるために、**地域にすむ一人ひとりが生き方を考え直す**ことから始まります。

第4回学習会(8/31) テーマ:「垣生山を今にいかす ~いのちを守る森づくり~」

講師: 鶴見武道氏(愛媛大学農学部客員教授)

参加者: 102名



標高118mの垣生山は、防災の山として重要ですが、それだけではありません。山頂からの180度のパノラマは見事です。また、森林の植生も豊かで、子どもから大人まで自然学校を楽しむことができます。しかし多くの可能性を持った垣生山ですが、**今のままではこれらの働きを十分に発揮**

することはできません。地域のみなさんが、垣生山の価値を認識し、できるところから山の手入れをする必要があります。

こうした山の活動が、私たちに**生きる手ごたえ**を感じさせてくれるはずです。

垣生山整備

生石地区まちづくり協議会準備会・垣生山里山整備部では、災害に備えて一刻も早い避難道の整備と避難場所の確保に向け、準備を進めています。

まず第一段階として、地権者様や各関係者様等のご了解を得て、現存する農道(登山道)周辺の草刈りや補修作業を地域にお住いの皆様にご参加いただきながら、実施して参りたいと考えております。

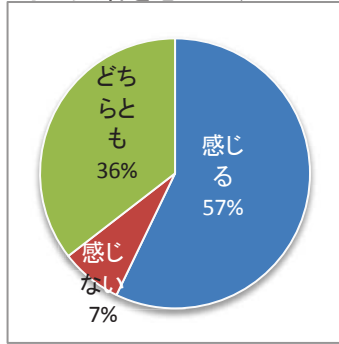
将来、この道々には桜等の木々を植え、垣生山を『さくら百選』に選ばれるような“名所”にしたいという大きな夢もあります。こういった活動は、地域の皆様のご理解、ご協力があってはじめて達成できると思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

垣生山里山整備部長 八木昭憲

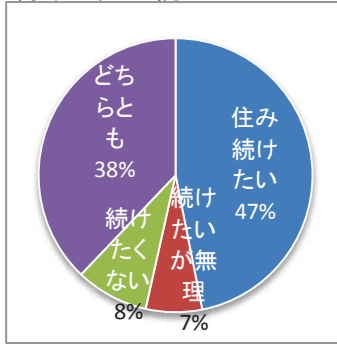


小・中学生

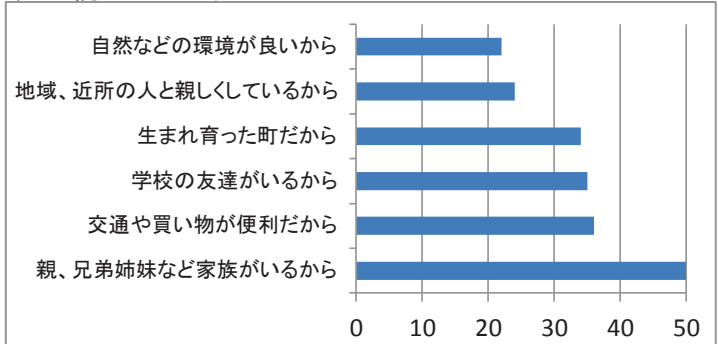
町に愛着を感じますか？



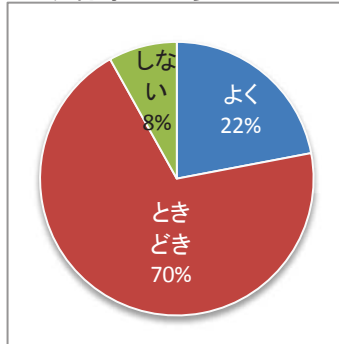
将来も住み続けたいか



住み続けたい理由



地域行事への参加



どんなまちになればいいと思うか

	1番	2,3番	合計
安心安全なまち	79	68	147
環境を大切にするまち	39	87	126
交通が便利なまち	33	51	84
助け合いのまち	21	47	68
子どもがのびのび遊べる	20	80	100
ふれあいのまち	17	47	64
観光交流のまち	12	17	29
スポーツのまち	10	30	40
人づくりのまち	7	21	28

【自分のまちの誇りに思うこと】

- 祭りなど地域の活動が盛ん
- 地域の人が優しい・親切
- あいさつを返してくれる
- 登下校の見守り
- 子ども会の活動
- 垣生山があって自然が多い
- 垣生山からの景色
- スーパー・コンビニなどが近い
- 空港がある
- 天狗の面
- 履脱天満宮
- 掩体壕
- など

【まちづくりのアイデア】

- ボール遊びができる場所（意見多数）
- 仲よくする
- 木を植える
- 困っている人を助ける
- ボランティアの機会を増やす
- あいさつをする（運動）
- 周りの人に気を配る
- 不審者をなくす

- 防災訓練
- 世代交流
- 親切なまちづくり
- ルールを守る
- 芝生の広場
- 防犯パトロール
- 地域と学校の交流
- 歴史や文化を伝える

- 歩道の確保
- ゴミを無くす・ゴミ拾い
- ポスターの掲示
- スポーツ大会
- 空港まで電車を通す
- ショッピングセンター

など

【その他意見】

- 弱い人でも住めるまちづくりを
- 大好きだから住み続けたい



《学習会のご案内》

【第5回学習会】

日時 平成25年10月23日（水） 19:00～
場所 生石公民館
テーマ まちづくりはひとづくり
～生き方を一緒に考えてみませんか～
講師 讃岐幸治氏（愛媛大学名誉教授）

【第6回学習会】

日時 平成25年11月27日（水） 19:00～
場所 生石公民館
テーマ 淡路ヶ峠の桜植樹で、町おこし（仮称）

講師 桑原地区まちづくり協議会
朝山和孝 事務局長
戒田平人 淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会会長

《ふるさと生石について》



生石地区は、

5町（高岡・富久・久保田・南吉田・北吉田）と
4自治会（高岡団地・宮前・桃山・富久団地）で構成されています。

	生石地区	松山市	占有率
人口	19,191人	517,783人	3.71%
面積	7.48km ²	429.06km ²	1.74%

（平成25年9月1日現在）

